

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【公表番号】特表2011-506783(P2011-506783A)

【公表日】平成23年3月3日 (2011.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-009

【出願番号】特願2010-536988(P2010-536988)

【国際特許分類】

D 0 4 H 3/16 (2006.01)

D 0 4 H 1/42 (2006.01)

D 0 4 H 1/54 (2006.01)

C 1 0 M 105/70 (2006.01)

C 1 0 M 133/42 (2006.01)

C 1 0 M 147/02 (2006.01)

C 1 0 M 143/10 (2006.01)

C 1 0 M 145/22 (2006.01)

C 1 0 M 143/04 (2006.01)

D 0 6 M 10/02 (2006.01)

C 1 0 N 30/00 (2006.01)

C 1 0 N 40/14 (2006.01)

【 F I 】

D 0 4 H 3/16

D 0 4 H 1/42 Z

D 0 4 H 1/54 C

D 0 4 H 1/54 H

C 1 0 M 105/70

C 1 0 M 133/42

C 1 0 M 147/02

C 1 0 M 143/10

C 1 0 M 145/22

C 1 0 M 143/04

D 0 6 M 10/02 D

C 1 0 N 30:00 Z

C 1 0 N 40:14

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月4日 (2011.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱可塑性樹脂並びに

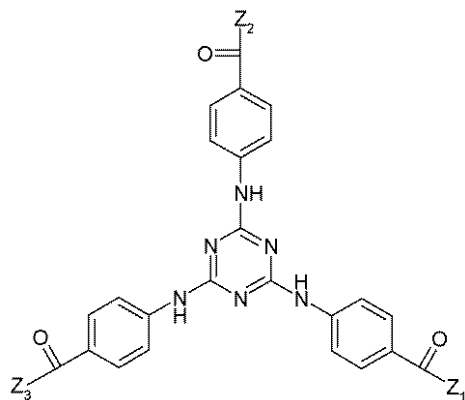
エステル置換及び / 又はアミド置換トリアニリノトリアジン材料を含む電荷添加剤

のブレンドを含む不織マイクロファイバーウェブを含むエレクトレット濾材であって、

前記エステル置換及び / 又はアミド置換トリアニリノトリアジン材料が構造 (a) :

【化 1】

(a)



(式中、 Z_1 、 Z_2 及び Z_3 が各々独立して、 $-OR^4$ 又は $-NR^5R^6$ であり、

式中、各 R^4 が独立して、直鎖又は分岐鎖のアルキル基、置換アルキル基、ヘテロアルキル基、又はアリール基であり、

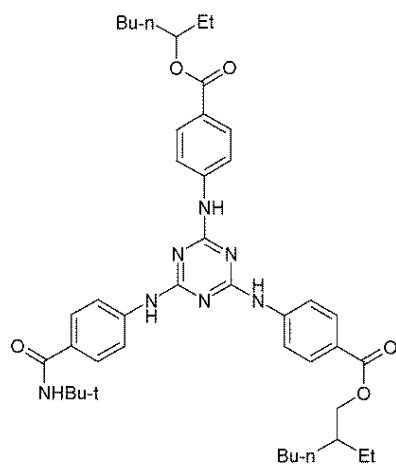
各 R^5 が独立して、H 又は直鎖若しくは分岐鎖のアルキル基、置換アルキル基、ヘテロアルキル基、若しくはアリール基であり、

各 R^6 が独立して、直鎖又は分岐鎖のアルキル基、置換アルキル基、ヘテロアルキル基、又はアリール基である。)

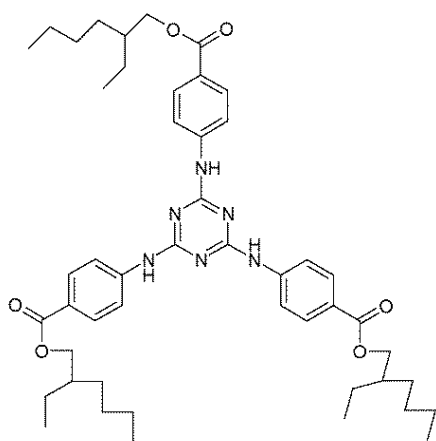
構造 (b) ~ (e)

【化 2】

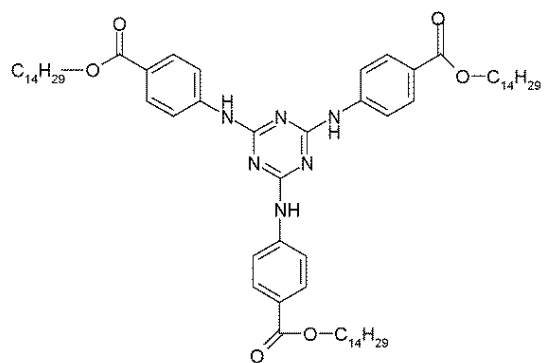
(b)



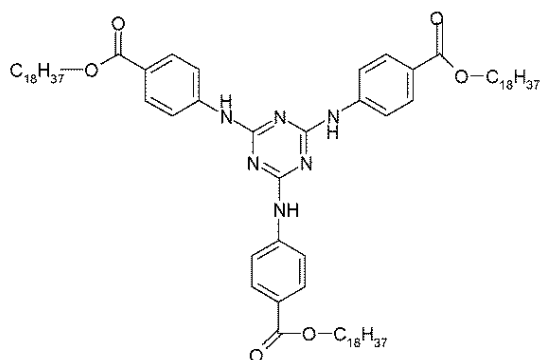
(c)



(d)



(e)



又はこれらの組み合わせを含む、エレクトレット濾材。

【請求項 2】

前記熱可塑性マイクロファイバーが、ポリオレフィン、ポリ塩化ビニル、ポリスチレン、ポリカーボネート、又はポリエステルを含む、請求項 1 に記載のエレクトレット濾材。

【請求項 3】

熱可塑性材料を提供する工程、

エステル置換及び／又はアミド置換トリアニリノトリアジン材料を含むホットメルト加工性電荷添加剤を提供する工程、

熱可塑性材料及び電荷添加剤をホットメルト混合する工程、

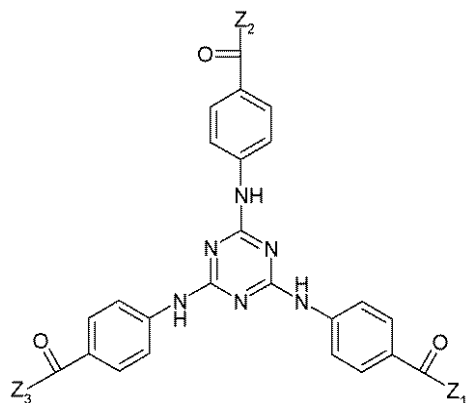
混合した熱可塑性材料及び電荷添加剤をメルトブローしてマイクロファイバーウェブを形成する工程、並びに

前記ウェブを帯電させる工程、を包含し、

前記エステル置換及び／又はアミド置換トリアニリノトリアジン材料が構造 (a)

【化 3】

(a)



(式中、Z₁、Z₂及びZ₃が各々独立して、-OR⁴又は-NR⁵R⁶であり、

式中、各R⁴が独立して、直鎖又は分岐鎖のアルキル基、置換アルキル基、ヘテロアルキル基、又はアリール基であり、

各R⁵が独立して、H又は直鎖若しくは分岐鎖のアルキル基、置換アルキル基、ヘテロアルキル基、若しくはアリール基であり、

各R⁶が独立して、直鎖又は分岐鎖のアルキル基、置換アルキル基、ヘテロアルキル基、又はアリール基である。)

で表されるエレクトレットウェブの製造方法。